

開講科目名／Course	美術とこころ	
ターム・学期／Term・Semester	2025年度／Academic Year 2 学期／Second	
開講区分／semester offered	2 学期／Second	
単位数／Credits	1.0	
学年／Year	2	
主担当教員／Main Instructor	澤田 佳孝	
担当教員名／Instructor	澤田 佳孝	
必修・選択 ／compulsory subject	選択	
講義形態 ／Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	便利さを重視する現代社会においては、とかく失われがちな、人が生まれながらに持っている物を作る力、表現する心、工夫する能力などを、描く体験を通して復活させたい。また課題の説明時に、造形の歴史にも触れ、先人たちが残してくれた物づくりの知恵についても、理解を深めたい。	
到達目標	1. 描く体験を通じて、自己を表現することの楽しさ、感じたこと・考えたことを形に表すこと（造形表現）の歓びを体験する。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、6.探求心と創造力	
授業計画	01. オリエンテーション及び素描1-1 描写的表現練習 02. 素描1-2 描写的表現の練習及び作品の講評 03. 素描2-1 概念的・空想的表現練習 04. 素描2-2 概念的・空想的表現の練習及び作品の講評 05. 文字と装飾 レタリングの練習 06. 花文字のデザイン 07. 切り絵花文字の制作-1 08. 切り絵花文字の制作-2及び講評	
その他の授業の工夫	課題の説明はクラス全体に行うが、その他は個別指導が基本。	
時間外学修	様々な表現素材の中から、自己の表現に最適な画材を見つけ出す（7h）。 絵日記をつけるように、文字と画像で日々の出来事を記録する習慣を身につける（7h）。 美術館・博物館・ギャラリー・工房等を訪れ、実物の作品を鑑賞するだけでなく、各種ワークショップ・講習会等にも参加して、表現力を養う（8h）。	
評価方法と評価割合	受講態度：40%、提出作品：60%	
テキスト	使用しない。	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他	描くこと・表現することは、自分自身のために、各自が生まれながらにして備えている力を、自覚するためであると考えてほしい。	
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		